



春南中だより

春日部市立春日部南中学校 令和4年度 第11号 令和5年3月1日発行



わたしと部活動



学 校 長

「おい石塚。今度ハンドボールの県大会に出てみないか」と、ある日当時の中学校に通っていた体育教師から言われました。

「えっ、先生、出場できるのですか」と問うと、

「もちろん、ハンドボールはオープン参加だから。早めにメンバーを集めて校庭に来な」。

すべては、この一言が始まりでした。中学校の時は野球部に入部、学年男子の半分は野球部に入る時代（1学年 500 名ほど在籍）でした。上級生が引退すれば自分たちの番、しかし、予選敗退してふらふらしていた時のことでした。早速、各部活動の部長級を集め、校庭で練習している女子部と合同で練習を開始しました。当時はこの女子部が正式に部活動として活動していました。この女子部がまた強い。県大会準優勝していました。さらにここに当時の教育実習生が現役でハンドボールを行っていて、本格的に教えてもらいました。今でもその時教わったフォーメーションを覚えているくらい、仲間みんなと夢中で練習しました。人から教わるということに、大きな喜びを感じていました。



県大会当日、そのグラウンドは浦和駒場球技場、今でいうと浦和レッズのホームグラウンド、その隣にあるサブグラウンドでした。教えてくれる、念願の県大会出場、とにかくうれしかった。一人一人の体格等もよく、大会に入り勝ち進み3連勝、なんとベスト4。つまり第3位の賞状をいただきました。そのメンバーたちと全校朝会で表彰を受けたこと、いまだに覚えております。そして、体育科の先生たちがさらに提案してきます。「石塚、次は駅伝やらないか」。

通常の部活動時間が終わり、真っ暗になってから校庭で練習がスタート、こちらは市内駅伝大会予選会（中学の部と一般の部が一緒でした）を優勝し、埼玉県駅伝大会へ。当時は上尾水上公園周回コースで年明けの1月に行われました。今でいえば、県立上尾武道館駐車場の周辺となります。

家に帰宅する時間ははっきり覚えていませんが、おそらく夜8時頃を過ぎていたと思います。

「おい石塚、今度ハンドボールの県大会に出てみないか」、中学2年生の秋でした。

（2月の全校朝会校長講話・抜粋より）

春暖の候、保護者の皆様や地域の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力賜りまして、ありがとうございます。この3学期も授業や諸行事を予定どおり教育活動を展開し、1年生のスキー教室や社会体験学習、2年生の東京校外学習、3年生の高等学校等入試など大過なく進めています。そして、今月15日（水）の第4回卒業証書授与式を控えているところです。この1年間、学校だよりをお読みいただき感謝申し上げます。内容につきましては、ご意見等もいただき満足いくものではなかった部分もあろうかと思いますが、次年度においても何卒よろしくお願ひします。

本校教育活動等に関係されました全ての方へ感謝申し上げます、年度末号として御礼の言葉とします。